

ハマガニ、スナガニの確認

■ハマガニ、スナガニの生息の確認

宮城テレビ放送の佐藤真二氏よりハマガニ・スナガニについての情報をいただき、取材を兼ねて蒲生干潟での調査を行った。観察した結果ハマガニ・スナガニが蒲生干潟に生息することを確認した（Fig. 1～4）。ハマガニはアシハラガニと同じ場所に生息していたが、警戒心が強く観察するためには巣穴近くで長時間待つ必要があった。スナガニは巣穴から砂を運び出し即座に中へ戻ってしまうため、こちらも観察には時間を必要とした。

ハマガニは宮城県カテゴリーで絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）に、スナガニは宮城県カテゴリーで絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されている。佐藤武宏氏（神奈川県立生命の星・地球博物館）に同定していただきハマガニ・スナガニであることを確認した。同氏より、Fig. 2のように甲の稜や縁が橙色の個体が典型的なハマガニの色であることご教示いただいた。お忙しい中での丁寧なご対応に、厚く感謝の意を表します。

また、今回の生息確認のきっかけを提供していただいた佐藤真二氏に厚く御礼申し上げます。



Fig.1 ハマガニ



Fig.2 抱卵したハマガニ 宮城テレビ提供



Fig.3 ハマガニ

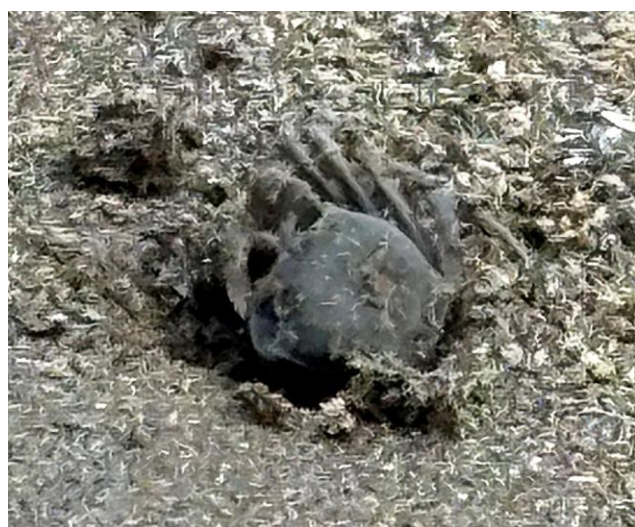


Fig.4 スナガニ